

病院の 実力

～静岡編 127

関節リウマチ

今回の「病院の実力」は関節リウマチを取り上げる。関節リウマチは、完全に症状が落ち着いてきた状態であっても、治療を中止すると再び悪化することが多く、継続的に治療することが大切だ。治療経験が豊富な聖隷浜松病院膠原病・リウマチ内科部長の宮本俊明医師(46)に聞いた。(余門知里)

早期発見で「破壊」抑制

関節リウマチは、免疫が過剰に働き、慢性的に関節に炎症が起きる原因不明の病気だ。あらゆる関節に痛みやこわばりが出て、進行すると骨などが破壊されていく。患者は国内に約70万

80万人といわれ、50歳前後の発症が多いが、20～30歳代での発症も2割程度ある。治療の基本は内服の抗リウマチ薬「メトトレキサート」の服用で、早期に発見して治療を始めれば関節の破壊を抑えられる。週に2～3回、決められた曜日

に服用する。基本的に生涯つき合わなければいけない病気で、長期の服用が必要になる。

表には、2017年の新規と再診患者の合計人数を示した。

抗リウマチ薬だけでは症状が治まらない場合は、長期的な関節破壊を防ぐ効果がより強い生物学的製剤を使う。現在8種類が保険適用されており、数週間ごとに注射や点滴をする。同等の効果があ

る飲み薬の「JAK阻害薬」も2種類登場した。2～3か月ごとに薬剤を見直し、症状の改善が見られない場合は別の生物学的製剤に切り替える。副作用がなければ、抗リウマチ薬と生物学的製剤を併用し続けることが望ましい。若い人ほど長期の治療が必要になっ

病院の実力「関節リウマチ」

医療機関別2017年治療実績

医療機関名	(読売新聞調べ)		
	新規・再診患者(人)	生物学的製剤などを使用(人)	関節手術(件)
聖隷浜松	1100	300	33
静岡厚生	812	276	11
県立総合	667	92	100
順天堂大静岡	579	177	28
聖隷三方原	496	58	11
浜松医療セ	472	28	9

「セ」はセンター

全国の調査結果は「安心の設計面」に16日に掲載しました。次回は「手の外科手術」。地域版は6月24日の予定です。

くる。

浜松市に住む40歳代の女性は、今年1月から手の指の関節が腫れたり治まったりを繰り返すようになった。他の関節にも痛みや腫れが広がったため、近くのクリニックを受診。けんし

よう炎の診断を受け、鎮痛剤を処方されたが改善せず、3月初旬、当院を受診し、関節リウマチと診断された。治療ではまず、抗リウマチ薬「メトトレキサート」を週4錠(8ピ・タ)から服用し、2週間後には6錠に増量した。改善が見られなかったため、4月中旬頃から生物学的製剤の注射を

2週に1回、外来で行ったところ、5月初旬には痛みや腫れが改善した。痛みがひどい時には、仕事を早退したり、休んだりしていたが、治療後は通常の勤務ができるまでに回復した。

関節の破壊が進んで生活に支障を来す場合は、人工関節を入れるなどの手術が行われる。最近では手足の指など小さな関節の手術が増えた。難しい手術のため、積極的に行う病院はまだ少ないが、当院では施術可能だ。薬や手術など治療の選択肢が多

いだけに、一定の経験を持つ日本リウマチ学会の専門医を受診することが望ましい。当院には、日本リウマチ財団登録の薬剤師と看護師が計3人勤務しており、リウマチ専門医と相談しつつ、患者の年齢や合併症の有無などを考慮しながら、適切な治療法を見つけていく。表に各医療機関の専門医数も掲載した。

関節リウマチは、発症して早期ほど骨が破壊されやすく、さらに時間が経過すると薬が効きにくくなるため、早期発見・治療が重要だ。症状が落ち着けば2～3か月に1回の通院ですむため、関節の痛みや腫れが続くようであれば、リウマチ専門医がいる病院を一度受診してほしい。

安心の設計

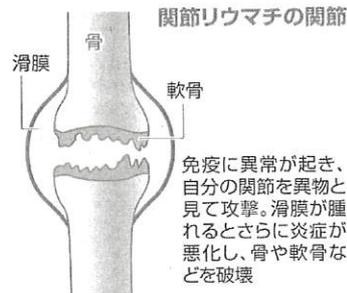
お便りは、
メールiryouri@yomiuri.com
ファクス03・3217・1960

関節リウマチ 免疫過剰で炎症反応

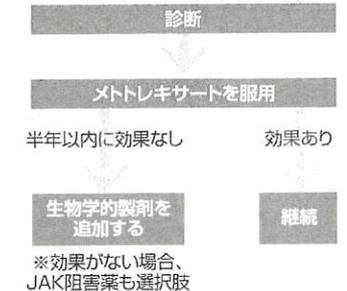
関節リウマチでは、自身自身の免疫が過剰に働いて関節を攻撃し、炎症反応が起る。原因は不明で、全身の関節に痛みやこわばりが出て、進行すると骨や軟骨などが壊れていく。

読売新聞は今年2月3月、日本リウマチ学会の教育施設579病院を対象に、2017年の治療実績をアンケート調査し、275病院(47%)から回答を得た。一覧表には、新規・再診患者が年400人以上の病院(該当がない県は最も多の病院)を掲載した。

項目は①関節リウマチの新規・再診患者の実数②生物学的製剤・JAK阻害薬による治療患者数③関節手術数(延べ件数)④日本リウマチ学会の専門医数を並べた。



国内の診療指針(2014年)



同学会が作成した診療指針では、関節の炎症を抑える効果があがる抗リウマチ薬「メトトレキサート」(一般名)の服用だ。炎症の反応がほとんどなくなっても基本的には服用を続ける。

この薬だけでは改善が難しい場合、より効果が強い生物学的製剤の追加を検討する。現在8種類の注射、点滴薬が保険適用されている。近年、生物学的製剤と同等の効果を持つとされる

50歳前後が発症のピークだが20〜30歳代での発症も2割程度あり、妊娠や育児の時期にあたる患者も多い。関節の炎症が強くなると関節が変形し、元に戻らなくなる。早期に診断を受け、治療を始めることが重要だ。早期に治療を始めれば病気の勢いが早く鎮まり、進行を抑えることができる。

病院の実力

192

次回(6月20日予定)は 手の外科手術

薬の服用が基本 壊れた関節は手術

飲み薬の新薬「JAK阻害薬」も2種類登場した。

それぞれ効き方が異なり、薬の調整に技術を要する。効果が強い分、免疫低下作用も強い。経験豊富な専門医の受診が望ましい。病気が進行して壊れた関節は元に戻らないが、手術で関節を修復すれば、家事や仕事などに支障がなくなることも多い。従来は膝や股関節など大きな関節の手術が多かったが、最近では生活の質の向上を目指し、手足の指などの小さな関節の手術も増えている。

国立病院機構・相模原病院(相模原市)リウマチ科部長の松井利浩さんは「関節リウマチの治療は患者さんの治療目標を把握したうえで、薬、手術を組み合わせて、総合力が問われる」と話す。(石塚人生)

主な医療機関の関節リウマチ治療実績(2017年)

①新規・再診患者(人)
 ②生物学的製剤などを使用(人)
 ③関節手術(件) ④専門医(人)

	①	②	③	④																
北海道					青梅市立総合	698	217	4	1	大阪急性期・総合医療セ	1225	426	36	4						
北海道内科リウマチ科					都立駒込	520	86	11	1	大阪医大	1121	437	42	21						
函館五稜郭	2133	401	51	3	虎の門	500	250	30	8	済生会吹田	976	169	11	1						
北海道整形外科記念	1220	170	28	2	順天堂大東京江東高齢者医療セ	472	95	12	4	地・大阪	883	315	45	5						
斗南	1013	214	12	3	東海大八王子	444	62	7	3	大阪赤十字	875	265	6	1						
帯広厚生	794	269	20	2	地・東京新宿メディカルセ	410	88	3	2	N T T西日本大阪	854	243	27	6						
旭川医大	749	190	31	4	町田市民	400	263	6	1	関西医大	729	293	25	6						
札幌医大	700	200	34	4	東邦大東大橋	400	120	8	5	大阪府立総合医療セ	708	225	32	4						
国・旭川医療セ	576	150	0	2	神奈川					大阪労災	580	190	59	1						
市立札幌	547	408	-	2	東海大	4494	312	21	3	国・刀根山	560	116	25	2						
小林	410	150	10	1	聖マリアンナ医大	2637	649	33	9	澁川キリスト教	500	125	20	4						
青森					国・相模原	2500	480	215	7	堺市立総合医療セ	464	92	3	6						
県立中央	1700	181	-	2	横浜市大市民総合医療セ	2130	540	102	6	高槻赤十字	448	132	18	1						
弘前大	447	83	11	2	横浜市大病院	1555	420	28	11	日生	400	60	2	1						
岩手					国・横浜医療セ	1116	167	19	2	兵庫										
岩手医大	445	76	48	6	聖マリアンナ医大横浜市西部	1093	56	9	2	松原メイフラワー	3407	85	133	2						
国・盛岡	420	92	4	1	北里大	1023	303	21	10	県立加古川医療セ	2195	519	92	5						
宮城					相模原協同	844	27	10	2	姫路赤十字	1093	82	13	5						
大崎市民	1484	218	5	3	横浜労災	785	230	12	3	兵庫医大	851	164	26	9						
みやぎ県南中核	988	52	15	1	市立川崎	745	120	19	4	市立伊丹	840	101	16	1						
明理会仙台総合	581	180	0	-	横浜市立みなと赤十字	609	197	14	1	北播磨総合医療セ	810	113	6	2						
秋田					聖隷横浜	600	200	4	2	加古川中央市民	642	172	3	4						
秋田大	1500※1	156※1	-	5	茅ヶ崎市立	500	64	3	1	神戸市立医療セ中央市民	613	52	9	1						
山形					川崎市立井田	403	86	7	4	宝塚市立	536	182	12	1						
山形大	971	301	45	5	新潟					県立尼崎総合医療セ	427	90	4	3						
県立中央	694	4	3	2	県立リウマチセ	3253	875	258	7	奈良										
福島					長岡赤十字	1618	485	50	5	香芝旭ヶ丘	1000	200	38	2						
福島赤十字	600	350	5	1	新潟市民	821	44	23	1	和歌山										
太田西ノ内	492	100	5	2	富山					日赤和歌山医療セ	1040	241	6	1						
茨城					富山赤十字	835	83	4	3	白浜はまゆう	580	105	21	1						
筑波大	1300	250	38	8	石川	467	208	12	14	県立医大	416	116	18	2						
県立中央	545	96	4	1	金沢大					鳥取										
栃木					福井					鳥取大	700	190	14	7						
独協医大	941	449	20	5	福井県立	2030	41	11	4	島根										
足利赤十字	822	26	4	1	福井赤十字	1996	179	17	4	島根大	957	329	27	4						
群馬					福井大	882	118	9	4	岡山										
井上	1602	556	11	5	福井総合病院	823	256	23	3	倉敷成人病セ	1453	171	44	6						
群馬大	1116	269	55	9	県済生会	486	34	15	2	川崎医大	851	55	11	7						
埼玉					山梨					岡山大	823	128	129	16						
埼玉医大総合医療セ	2244	815	-	8	山梨大	390	110	47	6	岡山済生会総合	450	99	2	3						
埼玉医大	2169	368	74	17	長野					倉敷スイートホスピタル	420	169	25	3						
独協医大埼玉医療セ	1426	117	6	1	長野赤十字	935	220	50	4	広島										
自治医大さいたま医療セ	1052	141	-	3	丸の内	911	309	50	4	中国中央	3366	40	31	2						
さいたま赤十字	515	156	39	3	岐阜					広島赤十字・原爆	815	257	8	3						
さいたま市立	514	141	13	1	岐阜市民	659	87	7	4	山口										
秀和総合	451	50	3	1	静岡					山口大	797	63	15	4						
千葉					聖隷浜松	1100	300	33	3	徳島										
千葉中央メディカルセ	3195	25	5	2	静岡厚生	812	276	11	2	美摩	1000	250	31	1						
亀田総合	1502	347	3	4	静岡総合	667	92	100	4	徳島大	625	124	15	7						
松戸市立総合医療セ	1355	350	26	5	順天堂大静岡	579	177	28	5	香川										
千葉大	1165	96	64	8	聖隷三方原	496	58	11	2	香川大	782	234	21	5						
国保旭中央	1048	268	6	2	浜松医療セ	472	28	9	3	愛媛										
順天堂大浦安	1042	239	26	5	愛知					愛媛大	643	101	8	7						
鎌ヶ谷総合	768	312	65	2	名古屋大	1408	394	34	8	高知										
東邦大佐倉	450	150	40	4	豊橋市民	1173	319	19	2	海里マリノ	1270	146	34	2						
帝京大ちば総合医療セ	406	54	6	2	豊川市民	1025	83	3	1	高知大	486	143	8	7						
東京					安城更生	971	105	30	6	近森	480	140	0	2						
東京女子医大	9014	1861	337	23	愛知医大	962	344	22	7	福岡										
杏林大	2918	480	489	8	名古屋大	956	272	17	8	産業医大	3567	875	25	13						
慈恵医大	2826	385	173	9	小牧市民	851	150	22	3	地・福岡ゆたか中央	967	144	0	1						
慶応大	2500	1500	43	17	海南	824	158	7	2	飯塚	963	330	17	5						
都立墨東	2481	340	128	2	刈谷豊田総合	600	122	8	4	古賀2 1	678	217	8	1						
順天堂大	2414	795	61	42	名古屋第一赤十字	400	100	27	1	福岡大	676	94	10	9						
東京医科歯科大	2289	799	20	15	京都					北九州市立医療セ	643	227	5	3						
日本医大	2134	265	158	11	府立医大	1193	360	52	13	九州大	544	142	183	9						
都立大塚	1816	333	34	5	京都第一赤十字	1030	280	44	4	福岡和白	539	49	5	1						
東京医大	1703	617	24	6	京都大	985	454	68	13	永田整形外科	500	159	28	1						
東京大	1610	440	57	16	京都市立	824	18	6	2	高木	484	45	0	2						
東京女子医大東医療セ	1607	177	39	4	京都市立	740	236	89	2	佐賀										
東邦大森	1304	365	27	8	大阪					佐賀大	745	252	31	10						
日大板橋	1300※2	296※2	71	3	行岡	8541	1567	101	8	長崎										
河北総合	1206	270	28	4	大阪大	4739	590	133	12	長崎大	2092	169	22	12						
帝京大	1092※2	231	13	7	近畿大	3625	388	11	11	地・諫早総合	666	185	6	2						
順天堂大練馬	881	50	14	3	国・大阪南医療セ	2784	242	193	8	熊本										
三井記念	876	255	120	1	大阪市大	2121	497	109	5	熊本赤十字	354	56	6	3						
昭和大	850	300	20	9	北野	1965	373	22	4	大										